

7日夕刊の十勝紙面で、みつろうの活用法を紹介した。きっかけは、自分自身がみつろうクリーム作りのワークショップに参加したことがた。

手足や髪の毛に使えるクリーム作りで、講師は

みつろう

帯広報道部 相沢 早希子

みつろうの販売もしているナルセ養蜂場(幕別町)の成瀬潤姫さん。ちょうど、自然素材の髪用クリームを探していた時に開催を知り、会場を訪ねた。

ての知識もなかったが、実際にやってみると、材料も作り方もとてもシンプル。約20分で完成し、手軽さに驚いた。何かからできているのかわかっているので安心でき、

使い心地も気に入ってます。かなり愛用している。

自分で作るという発想も、みつろうについ

今ある分を使い切ったら、また作ってみるつもりだ。ろうそくや、芳香剤のように使えるというワックスバーなどにもチャレンジしてみたい。身近でいい素材が手に入ることに感謝しつつ、夢を膨らませている。



ひとつ鍋